

『国際中醫師』資格認定試験

— 合格への道のり — 国際中醫師コース 青山 洋子



私たち研究科12名は、国際中醫師資格認定試験(2011年10月29・30日実施)のために、約1年半かけて準備をしてまいりました。しかしながら、2,500題に及ぶ問題集と50題の弁証論治を、一問ずつ理解しながらこなしていく作業は容易ではありませんでした。

1分に1問、1日3時間で180問、2,500題を終えるのに約2週間かかります。ところが、一通り終えてまた最初から問題を解いていくと、『あれ?こんな問題あったっけ...?』。その現象は何度も繰り返して起こるため、研究科でも『不思議な問題集』として話題にもなりました。(笑)

問題の中で特に手こずったのが弁証論治でした。カルテに書かれた症状から病名、証候名、治法、処方とその中身のグラム数まで記載しなければならないからです。症状を分析するのも然る事ながら、50種類の方剤の構成中薬を覚えるのも一苦労でした。アラフィフの仲間入りの私にとってはなおさらです。そこで、受験6日前に思い付いた苦肉の策が「物語作戦」でした。当帰=貴婦人・川芎=お灸・熟地黄=おじいさん、といった具合にイメージできる人物や動物・物・風景に置き換えて物語を作り、その映像を想像するやり方です。この作戦は意外と功を奏しました。頭の中の映像から中薬が次々と思いつけるのです。なにしろこの私が50種類ほぼ全部覚えることができたのですから自分でも驚きでした。

こうして、自宅での受験勉強は悪戦苦闘の日々でしたが、研究科での授業は楽しいものでした。私を含め滋賀・名古屋・仙台と遠方組が多かったため、毎回お土産やら方言やらで、和気藹々と励まし合いながら楽しく授業ができたことは幸いでした。

落ちこぼれの私を指導してくださった陶先生や劉先生、事務の皆さん、そして良き仲間にも恵まれ、こうして合格に導いてくださいましたことを心より感謝申し上げます。尽きることの無い中医学への道はまだまだ続きます。

これからもご指導よろしくお願い致します。

……国際中醫師試験を経て……

国際中醫師コース 川端 咲子



国際薬膳師の受験の際、試験対策のための過去の問題集がないため、ひたすら教科書や学校から貰ったプリントとにらめっこ。土壇場にならないとエンジンのかからぬ性格ゆえ、試験前は本当に焦りにあせり勉強した記憶がある。

ただ国際薬膳師の試験には救いがあった…薬膳学であるからには覚える対象が主に食に関する事で、膨大な食薬の五気六味や帰経を覚えるのが辛くても、理論の体系を考えるだけで失神しそうになっても、「これはきっと美味しいよ…これは美味くなさそう…だけど食べてみたら意外に美味しかったりして〜」などと思いを巡らせることが出来、難解な弁証施膳といえども、食いしん坊万歳!の私にとっては、やはり食べる楽しさにつなげられることになったからかもしれない。

国際中醫師への挑戦は、薬膳学の勉強への広がり期待して始めたつもりだったが、暫くすると、やや様子が違うことに気がついた…。

方剤を構成する中薬一つとっても、見た目も区別のつかぬ木の根っこや葉っぱ、見るも恐ろしい動物の部位など様々で…つまり、中薬にはなかなか美味しそう〜と心とむもは見当たらず、大棗や山楂子、枸杞子などが出てくると、ほっと一息つけるのは私だけではなかったはずである。

試験対策にも「復習大綱」という物々しい名前の膨大な問題数のテキストがあったものの、不勉強な私には数行の問題文さえ日本語にきちんと訳してあるはずなのに、中国語でもない、どこか異国の言葉にみえてきて、不覚にも涙したものである。

ところがである、梅核気という強いストレスからなる症状をかかえながらも勉強を進めていくと、全て同じ真っ黒な里芋や牛蒡にしか見えなかった根っこや動物の部位も、なかなかどうして素敵存在なのだと判ってくる。すると、私も調子づき、それら中薬の活躍ぶりに興味が沸き、次は中薬のパズルの理想型ともいえる方剤に、診断学や臨床学に、はたまた弁証論治にも興味が出てくる…という流れが完成したのであった。

試験日、五日前の話である…(悲)

もっと前からこのような流れが私の中に生まれていたら、試験はこれほどまでに苦しいものではなかったかもしれない。ただ、薬膳学で味わうものとは趣の異なる味…美味しいひとときを中医学の勉強でも味わえたことは確かである。

そして、これからも、ぼちぼちではあるが、国際中醫師の試験を経て、薬膳学をさらに掘り下げて勉強し続けてゆけることに感謝する自分がいる。



症例2 16才・女性

生理痛がひどい、毎回生理がくる時に、偏頭痛、下腹部が痛い、出血の中に黒い固まり手足が冷たい。生理期間に下痢しやすい。



ジャスミン
茉莉花チーム (平日コース : 歌野さん・鈴木さん・手塚さん・福岡さん)

【弁証】腎陽虚証、血瘀証
【立膳方法】温腎助陽、活血化瘀

① 蒸し海老 with 薬膳ディップ

【材料】海老、[煎じ液: 杜仲、龍眼肉、丁子、茉莉花、水] 紹興酒、胡桃、落花生、玉葱、生姜、油、塩
(飾り用) 香菜、胡桃、落花生

①



②



② 鮭の黒酢ソースかけ

【材料】栗、鮭、[煎じ液: 紅花、玫瑰花、水]、紹興酒、黒酢、黒砂糖、生姜、葱、レーズン、グリーンピース、醤油、塩、片栗粉

そうかもっか
草花木香チーム (平日コース : 河手さん・作田さん・名取さん・宮本さん)

【弁証】血寒血瘀証
【立膳方法】温経散寒・活血止痛

① 蕪・海老入り姜黄ビーフン

【材料】蕪、海老、姜黄、ビーフン、人参、玉ねぎ、大蒜、紹興酒、グレープシードオイル、塩、胡椒、胡麻油、花椒

①



②



② 乾姜黒砂糖と青梗菜・イカの和えもの

【材料】乾姜、黒砂糖、青梗菜、イカ、伊予柑、紅花、隠元豆、胡桃肉、塩、紹興酒

【弁証】血寒血瘀証
【立膳方法】温経止痛、理気活血

土日コース3班 (石丸さん・勝又さん・橋本さん)

①



②



① 海老と鶏の真珠蒸し〜紅花たれ〜

【材料】もち米、鶏ひき肉、海老、干椎茸、生姜、葱、陳皮、(胡麻油、塩、こしょう、醤油、酒、ターメリック、青梗菜、酢、醤油、紅花)

② 人参白玉の玫瑰花ソース

【材料】人参、白玉粉、はちみつ、玫瑰花、牛乳、黒砂糖、紅花、紅茶、片栗粉

